

## English Challenge(2025.12.20)

本校の2学期の終わりには、毎年、英語担当の外国人教員が主催する”English Challenge”というイベントが開催されます。中学1～3年の各クラスから選抜された代表が、英語の授業で取り組んできた成果を発表して競い合います。

中学1年生は、「私の大切なもの」というテーマでスピーチを行いました。紹介するものを実際に見せながら説明する”Show and Tell”という形式です。英語を流暢に話すだけでなく、ジェスチャーや表情をうまく使い、聞き手に伝わるように工夫する必要があります。声色を変えて聴衆の注意を引いたり、ズッコケて笑いを誘ったりと、皆表現力豊かに発表していました。

中学2年生は、英語劇を披露しました。「人生における教訓」というお題をグループごとに自由に解釈して、ゼロから台本を書いて劇を作ります。同級生が様々な役柄・衣装で登場するたびに、観客席の生徒たちも大喜びで迎えます。各クラス代表の劇は、どれも独特の場面設定の中で観客の笑いを誘う部分を作っており、それをわかりやすく伝える演出も含めて素晴らしい出来でした。

中学3年生は、英語でプレゼンテーションを行いました。「ドーナツの作り方」「ラクロスとはどんなスポーツか」「テルミン(ロシアの楽器)の演奏方法」などを、スライドを使いながら説明する、というものです。視覚情報をうまく使いながら、最高学年らしい堂々とした発表を見せてくれました。

プレゼンテーションとは別に、3年生の学年代表がスピーチも行いました。「How to make a difference in the world?」という壮大なテーマでしたが、「身近な人々と些細な会話をすることが世界をより良くするのだ」という学生の実感に根差した主張を、鮮やかな起承転結の流れで見事に説明していました。

その後、各学年の選抜メンバーから、歌と踊りの発表がありました。普段の授業で、生徒たちは外国人教員が選んだ英語の歌を練習し、友人とグループを作って発表します。その中で、特に素晴らしい発表をしたグループが各学年から選ばれ、English Challengeの舞台上で練習の成果を披露しました。クラスメートの見ている中で歌って踊るのはなかなか勇気がいることですが、中1から中3までの代表は皆、堂々とした演技を披露していました。

最後に、毎年恒例の、英語教員によるサプライズの発表が行われました。今年は、「YMCA」の替え歌「LSJH(La Salle Junior High)」とともに、教員たちがダンスを披露しました。いつも真面目な先生たちがユーモラスに踊る姿に、生徒たちも喜んでいました。

普段の授業とは一味違う、この学校ならではのEnglish Challengeは、生徒にとって、英語を使って相手を惹きつけること、自分の想いを表現すること、そして何より、英語を楽しむことを学ぶ、素晴らしい機会だと思います。



上 中2の英語劇

右 観客席 自宅生の親御さんも  
見に来ていただきました



中 2 の英語劇



中 2 の英語劇



中 3 の英語プレゼン



中 1 のダンス



中 1 のダンス



英語科教員による歌と踊り



実行委員の皆さん



表彰式風景